

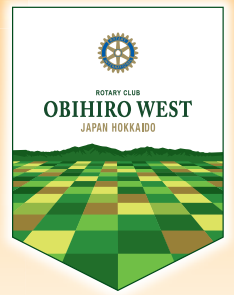


# 帯広西ロータリークラブ

## 第2017回例会

# 会報

### 2013.10.17



#### ■RI第2500地区テーマ■

「讚えよう地域を!クラブを!会員(自分も)を!  
ロータリーとの出会いに感謝!



#### ■クラブ・テーマ■

「ロータリークラブに出席し、ロータリーを楽しもう」  
(Attend at the Rotary Club, and let's enjoy a rotary)

#### ゲスト紹介

齊藤憲生会長  
日本甜菜製糖(株)芽室製糖所 次長 秋岡 廣一 様

#### 会長報告

皆さん、こんにちは。会長報告を致します。  
先週の会長報告で、11月7日の例会をお休みする話をいたしました。何故休むのかとの質問があり、私、この会長報告では、私の個人的な事は絶対言わないと、心に決めていました。よって話しませんが、帯広に戻って来るのが7日、よって例会に出られないのでお休み致します。当然、旅先で、「訪ねようロータリー」でメイキャップして参ります。

齊藤憲生会長



さて、先週の金曜日・土曜日・日曜日と釧路で地区大会がありましたので、その報告をいたします。いつもは10月の第1週、今年は第2週と連休がらみで、登録人数は26名とやや、少な目でした。しかしながら、少数精鋭、元気に「ヤー」とやって参りました。

金曜日、天候がすこぶる悪く、寒くて横殴りの雨、私は、行きはJRで行きましたが、車の方、ゴルフをされる方は大変だったと思います。ゴルフは増井先生が優勝された様です。

そして午後3時から、指導者研修セミナー、あれ、葭本ガバナーがいない、冒頭、司会者が、ガバナーが胃の中にポリープが出来て、一昨日入院し、ドクターストップがかかったとのお話。そのセミナーは小船井パストガバナーが仕切り、翌日の大会は、定款により櫻田直前パストガバナーがガバナー代理をされていました。

さて、地区大会は会場が釧路国際交流センター、点鐘の後、櫻田ガバナー代理の挨拶、そして、各クラブ紹介、米山奨学生紹介等がありました。

さて、夜の懇親会、カニが沢山出て、カニを食べる時、何故か無口になります。それから、ブラックビートルズというバンド演奏、タイのガバナー、櫻田直前ガバナー、小船井パストガバナー、奥周盛ガバナーエレクト、皆さん、前に出て楽しそうに踊られていました。私、地区大会でガバナーが踊っているのを初めて見ましたが、櫻田さん、これからはこんな踊る姿もありかと話されていました。

大会二日目、今年度からロータリー財団で「未来の夢計画」が始まっています。その中で補助金は地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラウンドの3種類に分けられますが、そのグローバル補助金により立ち上げられた

VTT、つまりVocational Training Team、職業研修チームとして、歯科医療チーム、旭川北ロータリークラブの森山昌彦歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、合計5名が、今年の8月に、第3330地区つまりタイに2週間派遣され、壇上において、報告、表彰されていました。

終わりに、次年度地区大会のホストクラブ、帯広ロータリークラブの紹介と、奥周盛次年度ガバナーの挨拶があり、大会は無事終了しました。なお、地区大会の様子は、広報委員会の北川委員長、森会員、久保会員がかなり写真を撮っていたので、西クラブのホームページに掲載されていますので、ご覧下さい。

#### 会務報告

- ①帯広南RC、移動例会開催のご案内  
日時 10月21日(月)午前11時  
場所 友好の森
- ②帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内  
日時 10月22日(火)午後6時30分  
場所 幕別パークホテル悠湯館
- ③帯広西RC、夜間例会開催のご案内  
日時 10月24日(木)午後6時30分  
場所 北海道ホテル
- ④・帯広RC、10月30日(水)の例会は、休会と致します。  
・帯広西RC、10月31日(木)の例会は、休会と致します。

奥田頼昌幹事



#### 委員会報告

- ニコニコ献金** 親睦活動委員会 古田敦則会員  
齊藤憲生会員  
釧路での地区大会が無事終わりました。参加された方、お疲れ様でした。
- 茨木雅敏会員 地区大会西コンペで真ん中賞をもらいました。
- 近藤誠勝会員 国際奉仕委員会の担当例会です、宜しくお願いします。
- 古田敦則会員 2年間地区の監査をさせていただき、先日の地区大会で無事役目を終了しました。
- 北川勝啓会員 PTA役員をさせて頂いております、帯広市立啓北小学校の広報誌が全国PTA広報誌コンクールで佳作となり、表彰していただきました。

各委員



2013年 10月 職業奉仕月間

ニコニコ 10月17 20,000円  
献金 累計 228,000円 (10月17日現在)



会長 齊藤 憲生 副会長 佐藤 聡 会場監督理事 横田 幸宏 発行：広報委員会  
幹事 奥田 頼昌 副会長 石原 英樹 プログラム委員理事 太田 豊 委員長 北川 勝啓 (副)森 房明



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033



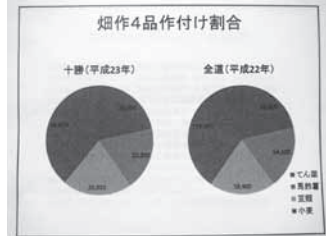
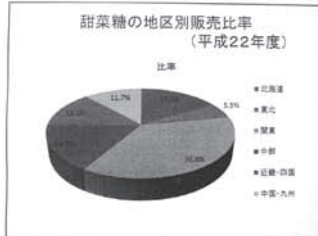
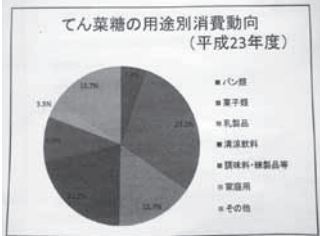
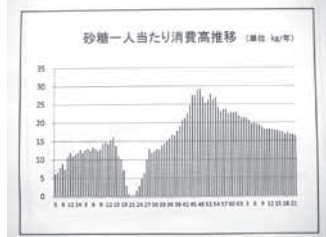
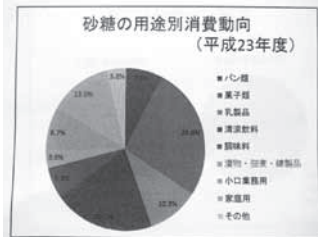
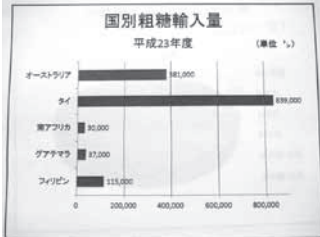
本日、高田委員長、用事が有り欠席のため代わりに私から、卓話をして頂く日甜茅室製糖所 次長 秋岡 廣一様をご紹介します。今日ビートの祭壇式をしてきた大変お忙しい中の時間でございまして、本当にありがとうございました。またTPPの問題などいろいろ重なっている穏やかな部分ではないのかなとは思いますが、30分の時間では有りますが宜しくお願いします。

「農業王国十勝甜菜糖の役割」

日本甜菜製糖(株)茅室製糖所 次長 秋岡 廣一様



年度	国内生産	国内消費	輸入	輸出	増減
1980	100,000	100,000	0	0	0
1981	105,000	105,000	0	0	0
1982	110,000	110,000	0	0	0
1983	115,000	115,000	0	0	0
1984	120,000	120,000	0	0	0
1985	125,000	125,000	0	0	0
1986	130,000	130,000	0	0	0
1987	135,000	135,000	0	0	0
1988	140,000	140,000	0	0	0
1989	145,000	145,000	0	0	0
1990	150,000	150,000	0	0	0
1991	155,000	155,000	0	0	0
1992	160,000	160,000	0	0	0
1993	165,000	165,000	0	0	0
1994	170,000	170,000	0	0	0
1995	175,000	175,000	0	0	0
1996	180,000	180,000	0	0	0
1997	185,000	185,000	0	0	0
1998	190,000	190,000	0	0	0
1999	195,000	195,000	0	0	0
2000	200,000	200,000	0	0	0
2001	205,000	205,000	0	0	0
2002	210,000	210,000	0	0	0
2003	215,000	215,000	0	0	0
2004	220,000	220,000	0	0	0
2005	225,000	225,000	0	0	0
2006	230,000	230,000	0	0	0
2007	235,000	235,000	0	0	0
2008	240,000	240,000	0	0	0
2009	245,000	245,000	0	0	0
2010	250,000	250,000	0	0	0
2011	255,000	255,000	0	0	0
2012	260,000	260,000	0	0	0
2013	265,000	265,000	0	0	0
2014	270,000	270,000	0	0	0
2015	275,000	275,000	0	0	0
2016	280,000	280,000	0	0	0
2017	285,000	285,000	0	0	0
2018	290,000	290,000	0	0	0
2019	295,000	295,000	0	0	0
2020	300,000	300,000	0	0	0



**適正な輪作体系の維持・確立**

- 十勝の畑作体系は主要4品目を交互に作付けする輪作により調定収量を維持している。
- 病害発生率など連作障害の抑制。
- 土壌物理性、化学性の改善。
- 養分バランスなどの地力維持。
- 特定雑草の蔓延を防ぐ除草効果。
- 作物の豊凶変動による経営面での危険分散。
- 農作業のピークをずらすことによる労働力の平準化。

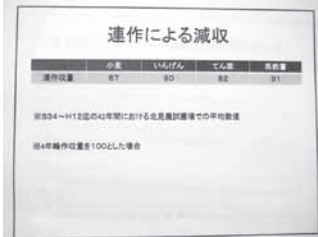
**輪作体系におけるてん菜導入の主なメリット**

- 土壌物理性の改善 → 厚根性作物、根域確保
- 地力維持 → 輪作作物の中で地肥を投入しやすい 重質陽返りによるNPK補給
- 病害防除 → 連作・交互作用による土壌病害虫の防止

他作物を含めた農業経営全体にメリット

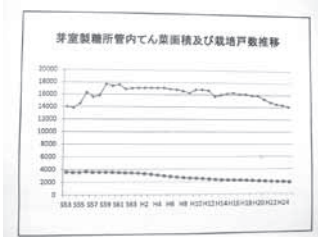
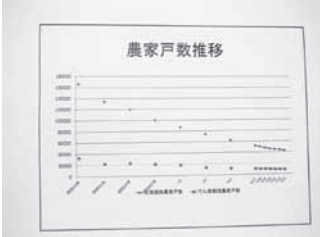
**当社の十勝における歴史**

- 1919年(大正8年)6月 北海道製糖創設
- 1920年(大正9年)12月 帯広工場落成 産糖開始 産糖量242t
- 1921年(大正10年)10月 清水工場落成 産糖開始 産糖量169t
- 1947年(昭和22年)19月 農事日本製糖製糖機工業買収
- 1960年(昭和35年)7月 本社業務東京へ移管
- 1962年(昭和37年)12月 配合飼料工場建設(帯広)
- 1962年(昭和37年)10月 全製糖会社を「スズケン」に統合
- 1962年(昭和37年)18月 帯広工場落成(帯広)
- 1970年(昭和45年)10月 茅室工場落成 産糖開始 産糖量12445t
- 1977年(昭和52年)11月 帯広製糖所閉鎖
- 1977年(昭和52年)11月 茅室製糖機工業吸収
- 1980年(平成元年)10月 ビート資料館落成
- 1989年(平成元年)12月 シュガーサイロ建設(貯蔵能力3万t)



**茅室製糖所概要**

- 敷地面積: 約120ha(東京1~125.5倍分)
- 従業員数: 約120名
- 能力: 甜菜裁断量 8,500t/日
- 製造製品: グラニュー糖、ファイバー、ペティン、おろ糖液
- 作付面積: 約15,000ha
- 原料甜菜: 約1,000,000t
- 砂糖: 約160,000t
- パルプ: 約40,000t



**茅室製糖所の雇用状況**

- 最盛期の雇用は産地雇用、課員数を合計して約370名(120+150+100)
- 原料輸送トラックは全道一円84社約320台、他に運込機50台の運転手と先回り80名の合計で約400名
- 鉄工会社や機械メーカー、電気関係業者が修繕期に最大90名毎日勤務
- 砂糖製品輸送等は農産期で毎日40台
- すべて合計すると約900名
- 在十勝糖業の製造業に関わる雇用は、日甜茅室、ホクレン清水、北糖本別を合計すると約2,000名と類推される。

